

リフレクションシート

【概要】



授業で学んだ事の振り返り（リフレクション）は、授業時間外の予習復習にとって重要な意味を持ちます。また、振り返りを読めば、授業内容に対する理解度を把握するための材料にもなります。

【目的】



- 振り返りを通して学生の学びを深める
- 学生の振り返った内容から、授業内容に対する理解度を把握する

【所要時間の目安】



- 振り返りの仕方（リフレクションシートの書き方）の説明（1～2分）* 初回のみ
- リフレクションシートの記入（約7分）* 質問数により調整



【準備物】



- リフレクションシート（受講生人数分）

活動サンプル

活動の流れ

- ①リフレクションシートの説明をする（5分）
 - ・リフレクションシートを授業の冒頭で配る
 - ・各振り返り項目について説明する
- ②リフレクションシート記入の時間を設ける（7分）
- ③学生のリフレクション内容を確認する 

留意点



質問項目で振り返りの内容は変わります！

振り返りは重要な学習活動ですが、単に振り返りをさせるだけでは、十分な学びに繋がりません。学習内容に応じて、質問の項目に工夫をしてください。

例えば、「今日学んだ事」のように抽象度の高い質問よりも「今日最も印象に残った授業内容」や「今日最も難しかった授業内容」という質問の方がより具体的な記述を引き出す事ができます。

学習内容と振り返りの項目に関連が生まれるよう留意してください。

リフレクションシートとフィードバック

学生が書くリフレクションシートは、原則学生自身に返却する事で、省察を促すという効果があります。加えて、リフレクションシートに授業者がフィードバックを書く事で、受講生にとって新たな学びに繋がる機会となります。受講生の数によって実現可能性は変わりますが、より学びが深まるアドバイス（例えば参考になる図書の情報）や精神的なサポート（勇気づけるような一言）をリフレクションシートに書いて返却する事で効果が生まれると考えられています。